

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年11月21日（金）

2 確認箇所

Cタンクエリア（図1）

3 確認項目

スラリー安定化処理設備設置に伴う干渉物撤去の状況

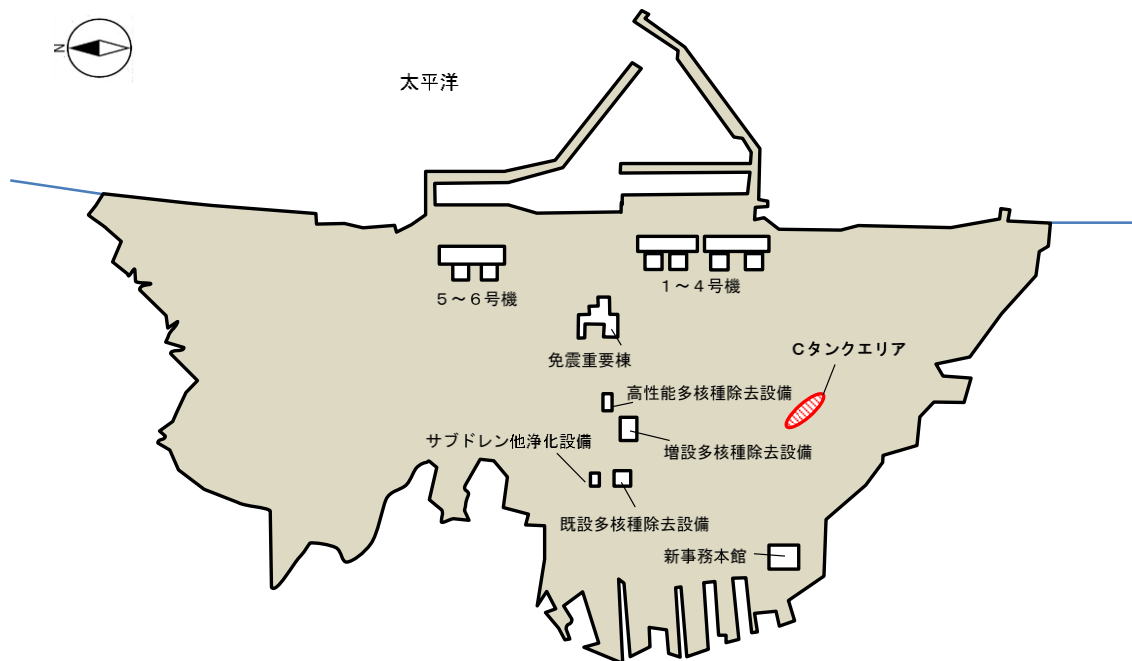
4 確認結果の概要

既設多核種除去設備及び増設多核種除去設備による汚染水の処理工程で生ずるスラリー※は高性能容器に収納し使用済セシウム吸着塔一時保管施設に保管されている。一方、スラリーは放射性物質を多く含んでおり、漏えいした場合作業員の被ばくや周辺環境への影響が非常に大きい。このため、東京電力では一時保管しているスラリー漏えいのリスク低減を目的とし、スラリー安定化処理設備の設置を進めている。当該設備では、高性能容器内からスラリーを抜き出し、脱水処理を行う。脱水物は、固体廃棄物貯蔵庫でより安全に保管する計画である。

今回は、Cタンクエリアで行われているスラリー安定化処理設備設置に伴う干渉物撤去作業時の各種対策（漏えい防止、飛散防止、被ばく低減等）の状況を確認した。

- ・ Cタンクエリア東側では、タンクの解体が行われていた。解体された鉄板は、一箇所にとめられ整然と保管されていた。（写真1）
- ・ Cタンクエリア北側及び南側では基礎コンクリートの斫り工事が行われていた。（写真2）
- ・ 確認した範囲において、解体物等の飛散・流出はなかった。

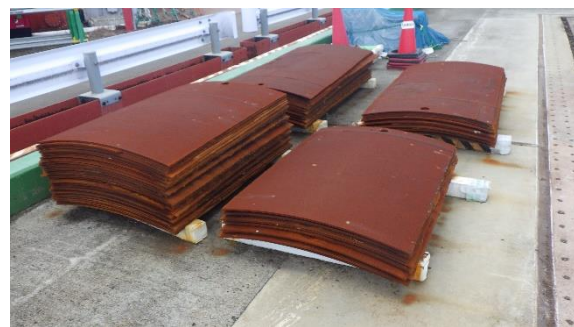
※ スラリーは、液体中に固体微粒子が均一に分散した、泥状またはかゆ状の混合物である。例えば、セメントと水を混合したものはセメントスラリーと言う。汚染水の処理で生ずるスラリーは、放射性物質を除去するために加えた薬剤や、薬剤と放射性物質が反応して生成した沈殿物等が含まれている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 解体中のタンク



(写真1②) 解体物の保管状況



(写真2①) 準備工事の状況 (南側)



(写真2②) 準備工事の状況 (北側)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。